# WILCOMM

# **※** ウィルフォームス

Forms Designer Tutorial <補足資料 >

**DES004** (Last Update: 2002/5/7)

© Copyright 1999 Wilkinson Computer Services Pty Ltd



### Microsoft Accessデータベース/テーブルの参照

AS/400から送られて〈るスプールファイルの値を元に、PC上に存在するMicrosoft Access データベース/テーブルを参照し、フォーム上に表示を行います。

#### <前提条件>

- Microsoft Accessデータベース名/テーブル名/列名は全て半角英数字を使用するようにして下さい。
- <u>Microsoft Accessデータベースへの接続はODBC Connectionとなります。</u>
- WilFormsは英語版で作成されたフォームのみが使用可能となります。

#### <事前準備>

添付してあるファイル "CUST. mdb" (Accessデータベース)をPC上のフォルダー (どこでも可) に格納します。使用するテーブル名は "CUST"。

〔テーブル・レイアウト〕

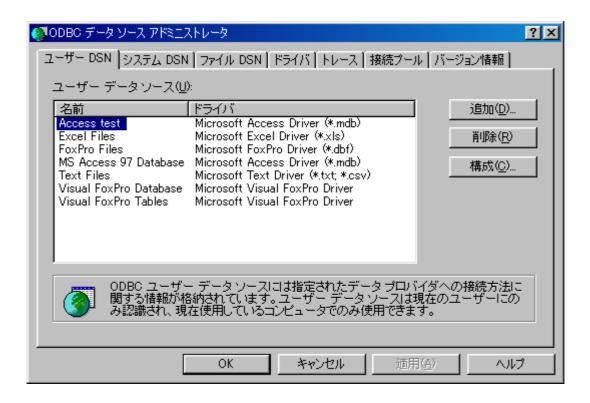
フィールド名	データ型	フィールドサイス
C u s t o m e r C o d e	テキスト型	2
C u s t o m e r N a m e	テキスト型	5 0
Customer ADDR1	テキスト型	5 0
Customer ADDR 2	テキスト型	5 0
CustomerTEL	テキスト型	5 0

#### <ODBCデータソースの設定>

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]を実行して下さい。



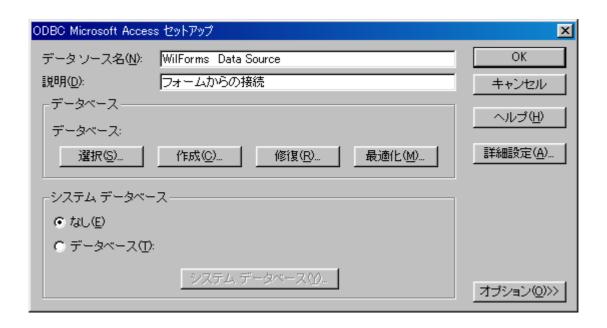
ODBCデータソースをダブルクリックして、開きます。



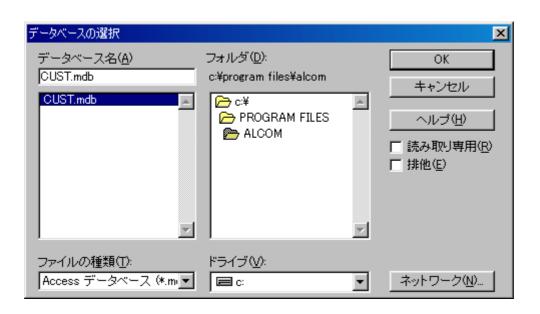
[追加]を押します。



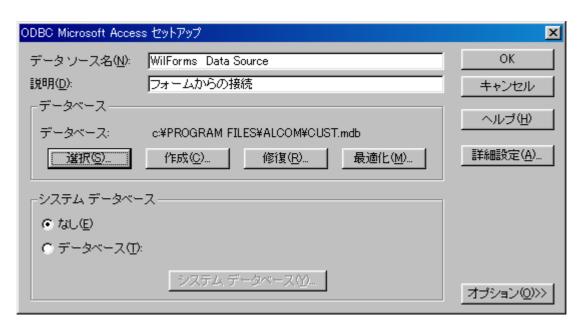
セットアップするデータソース(この場合は"Microsoft Access Driver(\*.mdb)"をダブル・クリックします。



データソース名、説明を入力(内容がわかれば何でも結構です)し、[選択]を押します。



データベース / テーブルが格納されているフォルダー及びデータベース名を指定し、[OK]を押します。 添付してあるファイル "CUST.mdb"をPC上のフォルダーに格納します。その格納したフォルダーを指定します。





[OK]を押します。( 作成したODBC Data Sourceが追加されている事を確認します。)

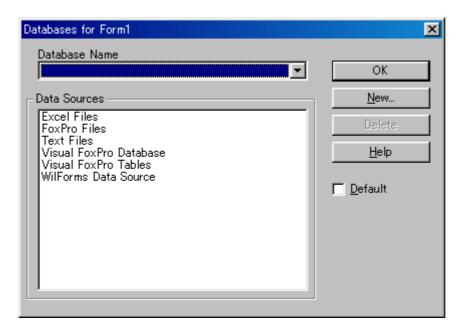
# ODBCの設定はこれで終りです。

<フォームでの設定方法>

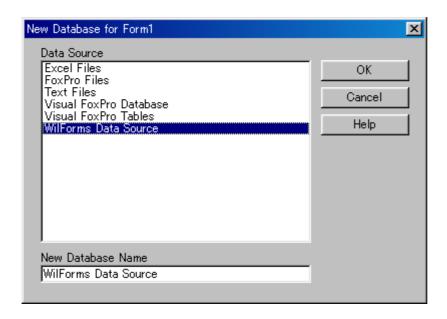
フォーム上のある項目(AS/400から送られて〈るスプールファイルの項目)の内容を元に、PC上のデータベース/テーブルから、データを参照し表示させます。

参照するデータベース / テーブルの設定を行います。

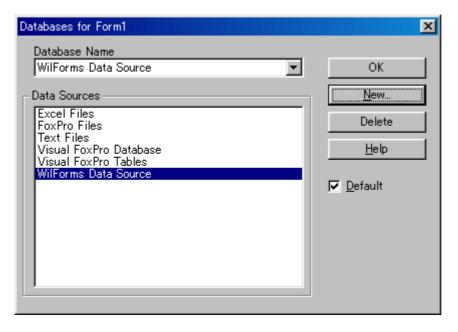
[File] - [Databases]の順に選択し、実行します。



[New]を押します。

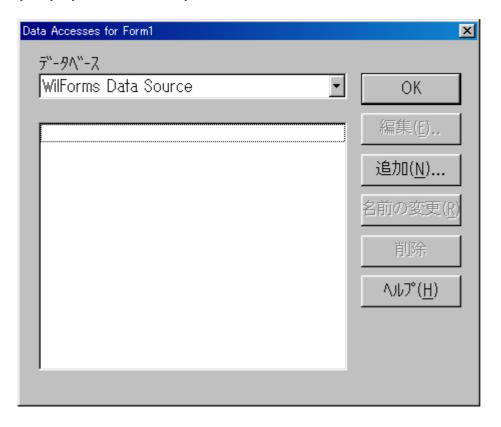


前項までで作成したODBC(データソース)をデータソース一覧から選択(クリック)し、[OK]を押します。

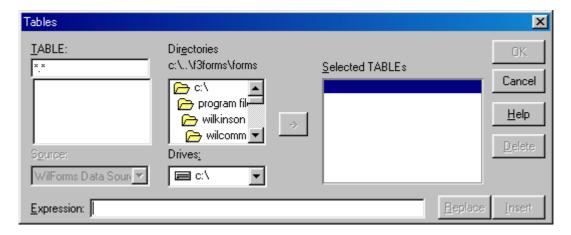


[OK]を押します。

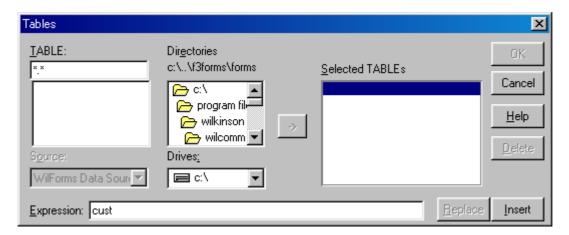
[File] - [Data Accesses]の順に選択し、実行します。



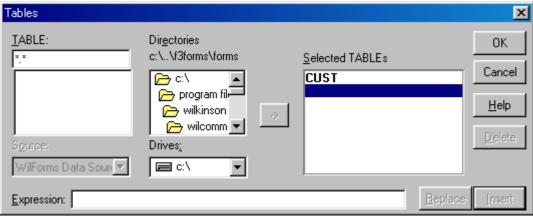
[New]を押します。



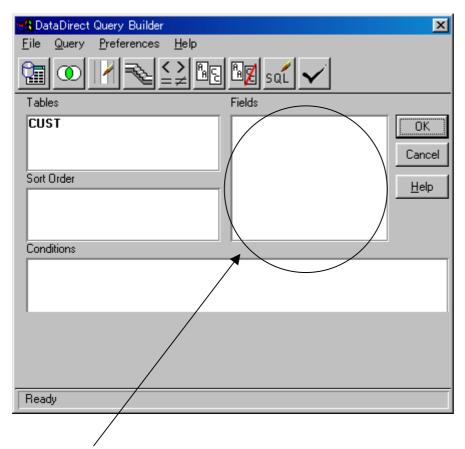
参照するテーブルをExpressionに入力します。当チュートリアルでは"cust"を入力します。



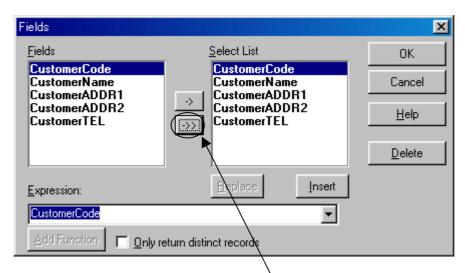
[Insert]を押します。



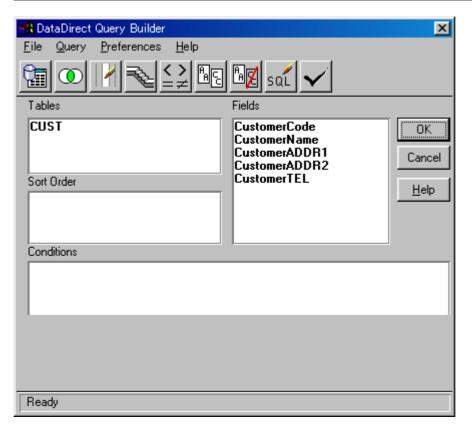
[OK]を押します。



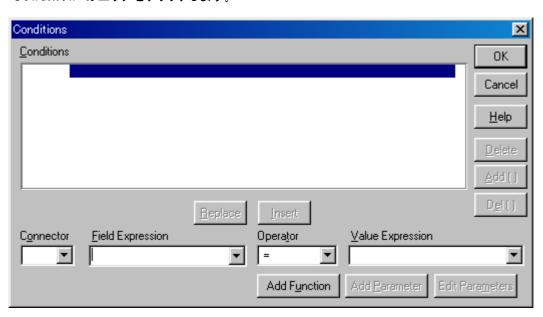
"Field"のエリアをクリックして下さい。



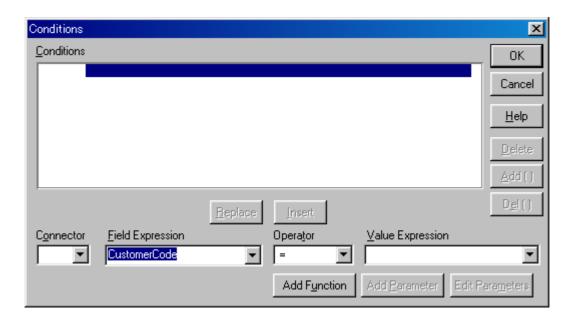
Fieldsにテーブルの全列名が表示されるので、ここから抽出する列名を選択します。 当チュートリアルでは全てを選択します。[->>]を押します。



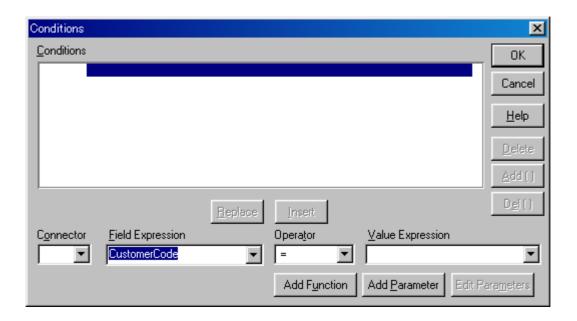
"Condition"のエリアをクリックします。



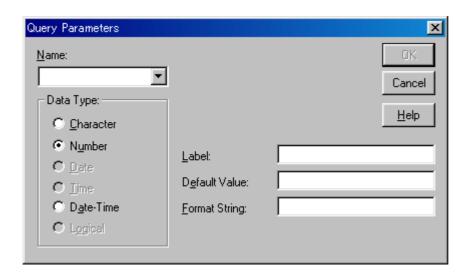
Field Expressionのリストボックスから抽出条件に使用する列名(テーブルの列名)を選択します。 当チュートリアルでは"CustomerCode"を選択します。



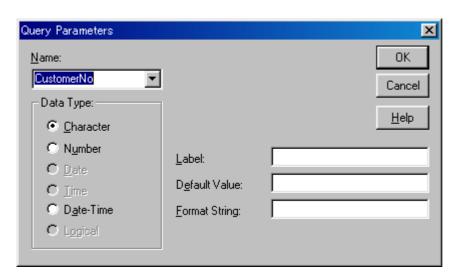
Value Expressionをクリックします。



#### [Add Parameter]をクリックします。

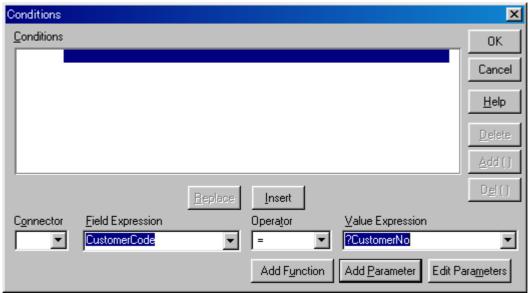


Nameにデータベース / テーブルを参照するための検索キー項目 (フォーム上で定義する変数フィールド)を入力します。 当チュートリアルでは "Customer NO"を入力します。この変数フィールドは後ほど定義します。

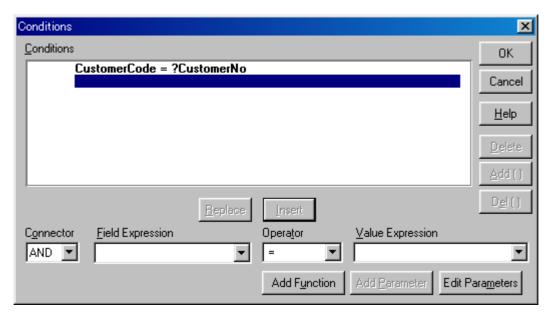


注意:データベース/テーブルを参照するための検索キー項目のフィールド名は必ず半角 英数字を使用して下さい。(カッコやハイフンなどは使用できません)

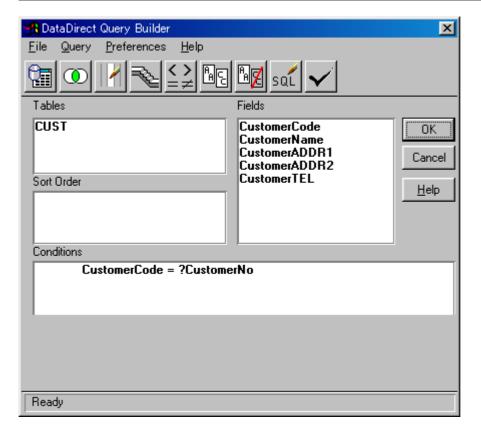
[OK]を押します。



[Insert]を押します。



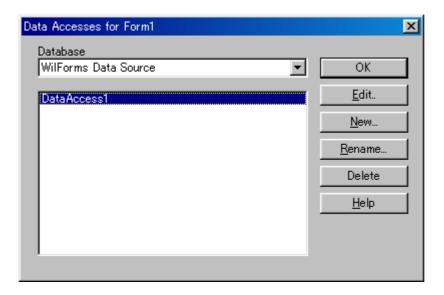
上記画面でテーブルからの抽出条件を設定します。 ここでは、テーブルの列名"CustomerCode"とフォーム上の変数フィールド"? CustomerNO"が 同一のものをテーブルから抽出します。





上記で設定しました"CustomerNO"がフォーム上のどこにも定義されていないために、このメッセージが表示されます。"CustomerNO"はこの後に変数フィールドとしフォームに設定します。

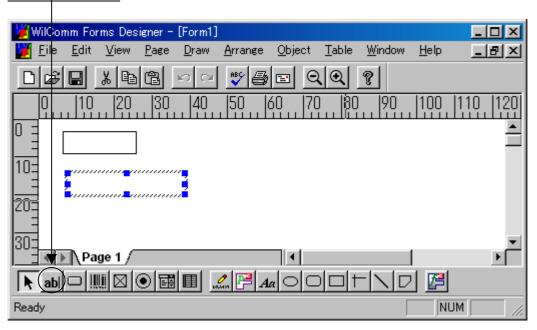
[OK]を押します。



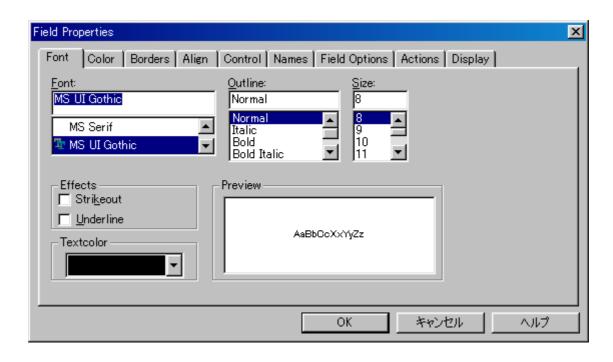
ここまでで、データベース/テーブルを参照するための設定は終りです。

## データベース/テーブルの検索キーとなる項目を定義します。

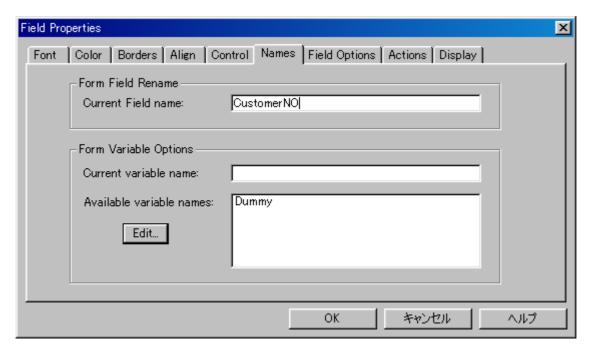
<u>Edit Toolアイコン</u>をクリックし、変数フィールドを作成します。



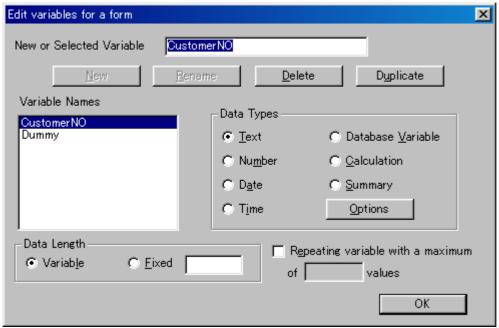
作成した、変数フィールドのプロパティーを開きます。



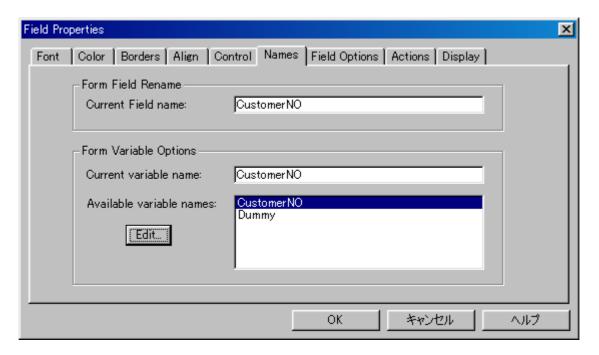
タブシート"Names"を選択し、フィールド名を入力します。当チュートリアルではデータベース / テーブルを検索するためのフィールド名"CustomerNO"を入力します。



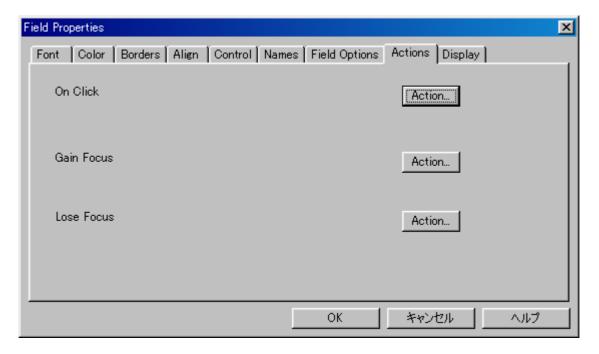
[Edit]を押します。



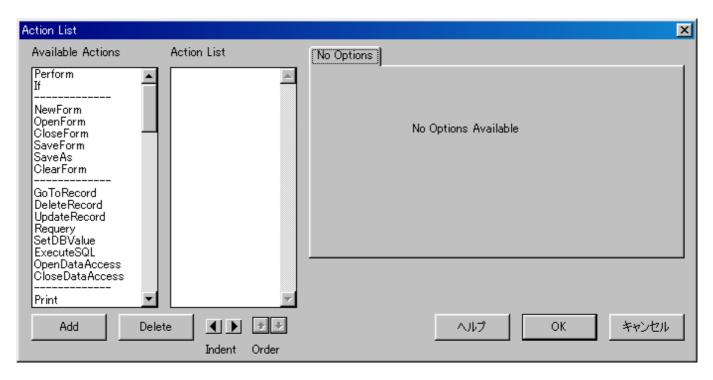
OK]を押します。



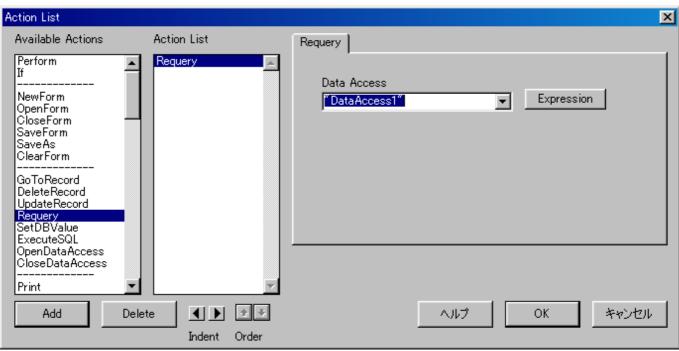
タブシート"Actions"を選択します。



Lose Focusの[Action]を押します。

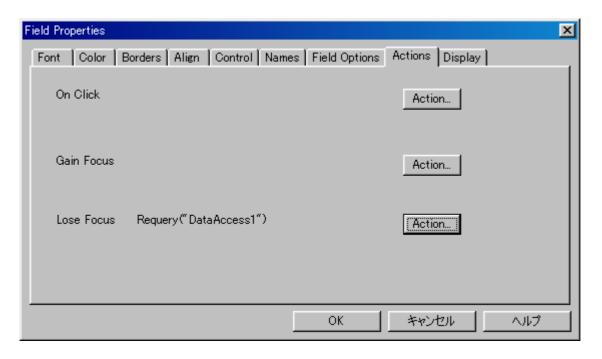


Available Actionsの中から、Requeryを選択し、[Add]を押します。



[OK]を押します。

上記で設定したData Accessの名前が違う場合や上記画面の通りに表示されない場合は、Data Accessのリストボックスから、該当のData Accessを選択します。

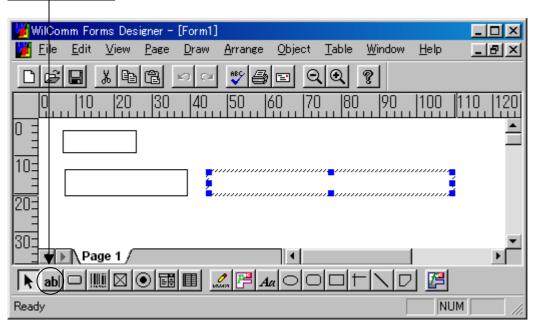


#### [OK]を押します。

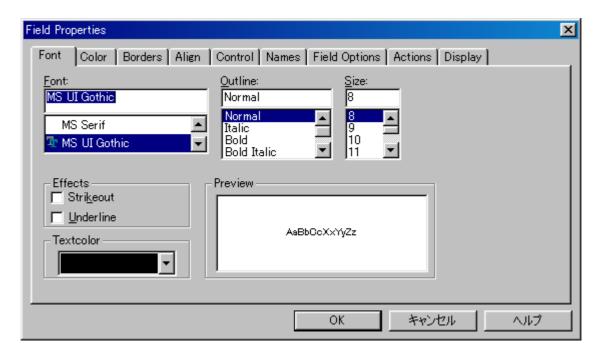
アクションへの登録は、実際のスプールとフォームをマッピングして出力する際に、ページが変わる都度、データベース / テーブルを再検索し、値を再設定するために行います。Wil Commでの実際のスプールとフォームをマッピングして出力する機能はWil Comm Forms Fillerで実行されます。

#### 実際にデータベース/テーブルからの参照情報を表示する変数フィールドを作成します。

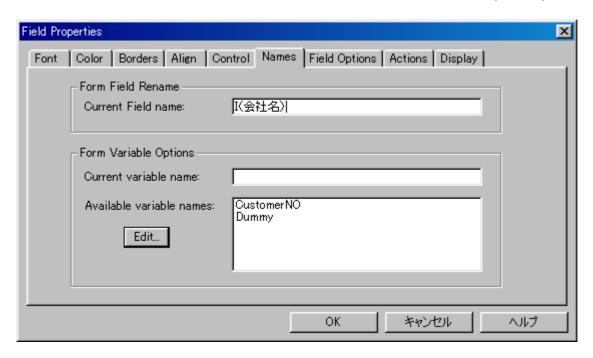
<u>Edit Ţollアイコン</u>をクリックし、変数フィールドを作成します。



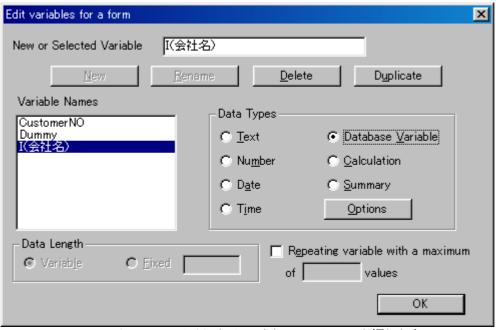
作成した、変数フィールドのプロパティーを開きます。



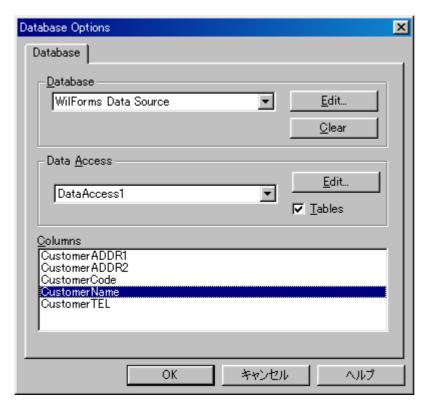
タブシート"Names"を選択し、フィールド名を入力します。当チュートリアルでは"I(会社名)"を入力します。



#### [Edit]を押します。

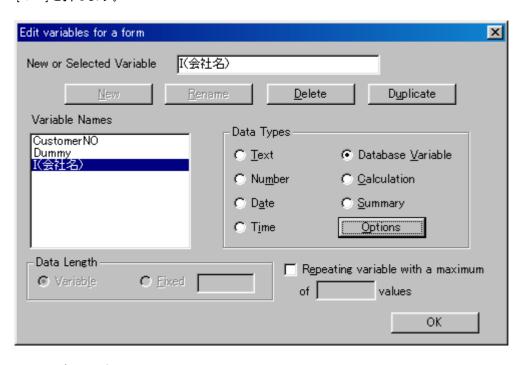


Data TypeのDatabase Variableをチェックし、[Options]を押します。

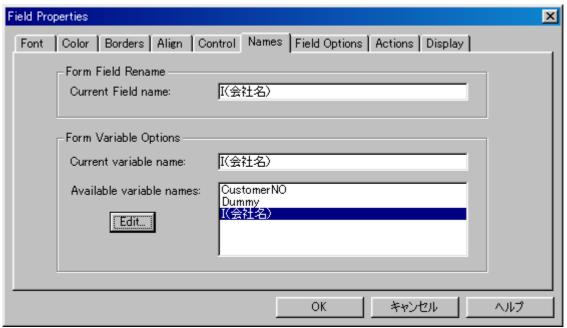


Databaseに [File] - [Databases]で設定した値をリストボックスから選択します。
Data Accessに[File] - [Data Accesses]で設定した値をリストボックスから選択します。
Columnsから参照したい列名を選択します。当チュートリアルでは"CustomerName"を選択します。

#### [OK]を押します。



[OK]を押します。



[OK]を押します。

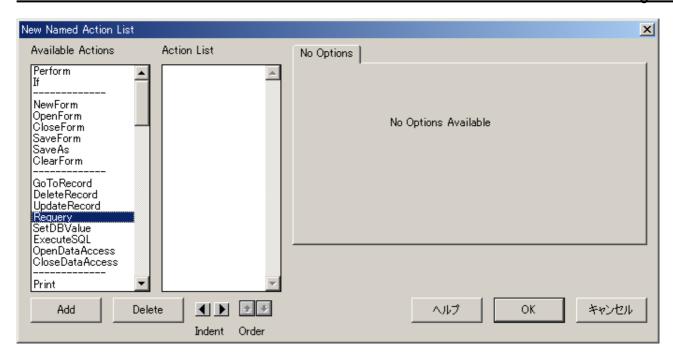
[Edit]-[Named Actions]を実行します。



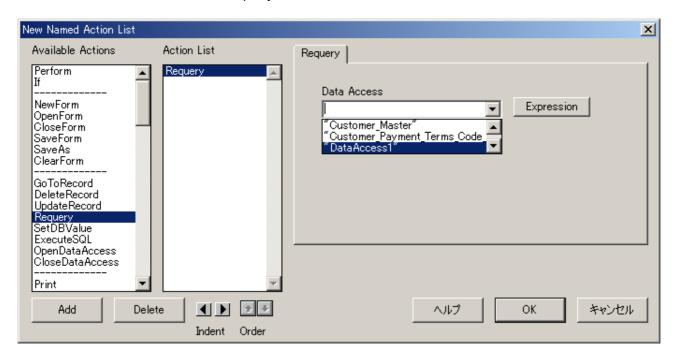
[New]ボタンを押します。



入力欄に、"BeforePrint"と入力して OK を押します。



Available Actions の欄にある、Requery をダブルクリックします。

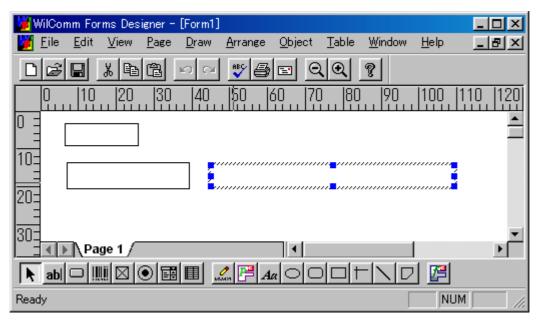


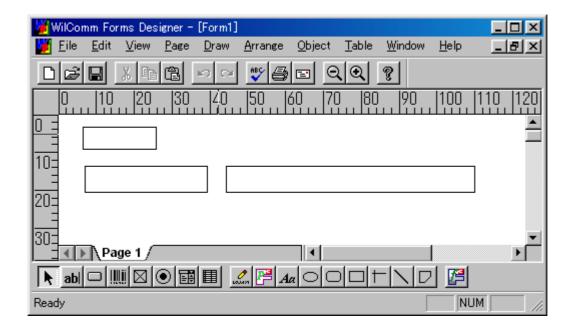
フォームで使用している DataAccess を選択します。

「OK]を押します。

# ここまでで、変数フィールドの設定は終りです。

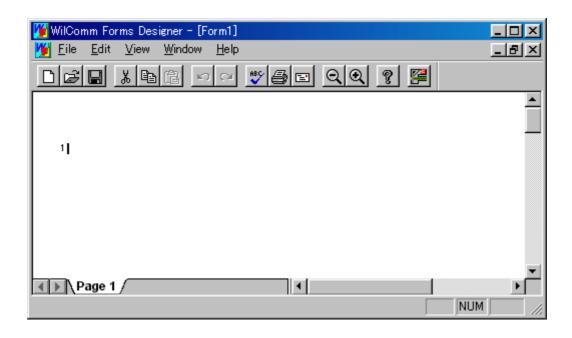
フィラーモードを使用して、データベース/テーブルの検索を確認します。



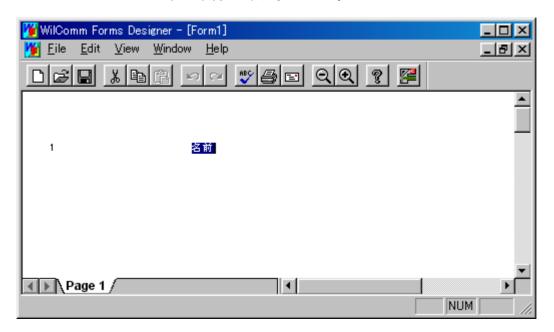


Display form in fill modeアイコンをクリックします。

変数フィールドに値(当チュートリアルでは1)を入力し、Tabキーを押します。



データベース / テーブルから値が取得され、表示されます。



以上で、Accessデータペースから値を取得し、フォーム上に表示させるチュートリアルは 終了です。

上記例におけるスプールファイル上の変数とフォームとのマッピングは検索キーとして使用した変数フィールド(CustomerNO)のみとなります。

必ずデータベースの検索結果は値が取得できるようにしてください。